

# かがやけ 宇智の子

宇智小学校

## 平成二十三年度を振り返り

校長 異利雄

花壇のチューリップが色とりどりに自己主張をする四月、ランドセルの黄色いカバーが鮮やかに見える新入学児童二十五名を迎えました。宇智小学校グラウンドデザインに表記したように、「四つの力」を付けることを目指して平成二十三年度がスタートしました。以来、早一年が経過いたしました。

一年間を通して、子どもたちは様々な学びをしてきました。朝の十分間読書に始まり、計算・漢字ドリル等を使って繰り返し学習する学習もあれば、町探検や栽培活動さらにはゲストティーチャーによる体験活動で深まった内容もたくさんあります。新しい教育課程に基づき、全ての領域で言語活動を重視しながら計画的に進めてきました。今、平成二十三年度を振り返り、今年も英語活動や人権を尊重していく学習の積み重ねには、小さいながらも手応えを感じています。また、国語科を中心とした言語活動の充実については、研修講師を招いて授業公開という形で取組を進めてきました。結果として、言語に関わる基礎基本の徹底や伝え合う力(コミュニケーション力)をさらに鍛えていく必要性を感じています。

また、今年度も図書館・子ども安全見守りボランティアを募集し、活動の継続をさせていただきました。十三名の皆さんが、それぞれ多忙な中でも時間を見つけて活動くださいました。その熱意に感謝し、お礼を申しあげます。

学校の評価につきましては、限られた項目についてははじめ保護者の皆様に生活アンケートとしてご協力いただきました。その結果を下に教職員が自己評価し、加えて学校評議員の皆様にご意見をいただきました。ここに、その概要を報告させていただきます。

教育目標や、その取組への進捗状況を学年便りや保健便りまた広報紙「きずな」等を通してお知らせしてきました。保護者の皆様のご意見を集約し考察しますと、これらの便りや広報をうまく活用しつつ、家庭における親子の会話がさらに弾むものを創造していかねばと痛感しています。

宇智小学校ホームページ等を含め広くお知らせしていく方法や取組を充実させ、子どもたちが一層生き生きと活動し、保護者や地域の皆様が集う学校づくりを推し進めていきたいと考えています。次年度も引き続き、本校教育に大きな協力ご支援をいただきますようお願いいたします。

### 学校生活アンケート

十一月末に保護者の皆さんに学校生活アンケートにご協力いただきました。ありがとうございます。

本校の教育活動をより充実させるため参考にさせていただいております。

本校では、四つの力(学力・体力・連帯力・忍耐力)をつけるため、「挨拶」「読書」「継続」を三つのキーワードとし、教職員一丸となり教育活動を進めています。少しでもよりよい教育ができるよう、日々模索し努力しています。

アンケートを集約することで、子どもたちにさらにどのような力をつけるべきか、どのような力が不足しているかなどを判断することが可能となります。

左のグラフは、学校生活アンケートの結果です。結果より、次の三点が大きな傾向であり、今後生かしていくべき事柄だと判断しています。

#### 〈喜んで登校している〉

子どもが喜んで登校するという事は、学校の教育の成果が上がる一番大切な要素であると言えます。設問1で、九三パーセントの子どもがAあるいはBであることが家庭で判断されていることは、大変うれしいことです。今後子どもたちとより一層信頼関係を築き、教育に生かしたいと思います。

また、参観授業や学級担任についての設問(設問7・8)の結果も八〇パーセント前後と高く評価されており、このことも子どもたちの学校生活に向かう心情に良い影響を与えていると推察されます。学校と家庭が良い関係で信頼しあえるからこそ、よい教育ができると思います。

#### 〈家庭での学習と基本的生活習慣〉

設問3と4については、ご家庭での過ごし方について問われています。これらはどちらも、肯定的な評価は七〇パーセント程度で、やや低い結果になっています。

二月二十一日に学校評議員会を開き、評議員の皆さんにも、ご意見をいただきました。そこでも、家庭との連携が重要であるとのご意見をいただきました。学校で取り組んだことを、さらに定着させたり深めたりするには家庭での過ごし方がとても大切であると考えます。

早寝・早起き・朝ごはんが定着している子は、朝から集中して学習できます。ご家庭での過ごし方はどうでしょうか。改善するところはないか、一度点検をお願いします。

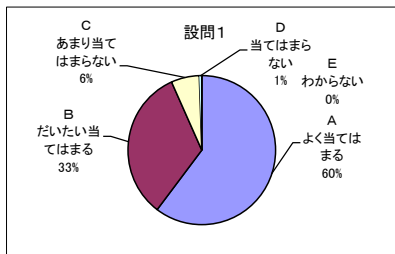
設問5の読書タイムについては、あまり家庭で話題にあがらないという結果が出ました。しかし、学校での子どもたちの様子からは、読書に親しんでいることがうかがえます。これは、読書タイムについて家庭への啓発が十分でなかったと判断できますので、今後の課題としてまいります。

また、ご家庭でも子どもさんと一緒に読書タイムをつくってはどうか。以前に校長長より「もうちどく(家読)のすすめ」として取り上げてあったことですので、もうご存じかと思いますが、ぜひお薦めしたいことです。

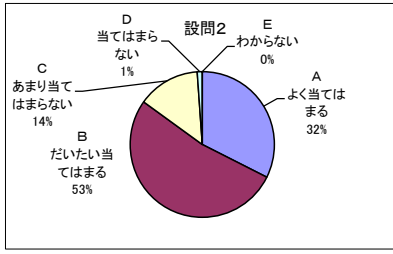
昨年引き続き、今年も学校評価の一部として、保護者アンケートの結果を公表させていただきました。保護者の皆さんの考えを、学校の取組に生かしたいと考えています。今後学校取組について、皆さんからのご感想・ご意見をお待ちしております。

### 学校生活アンケート結果グラフ(保護者) 11月28日実施

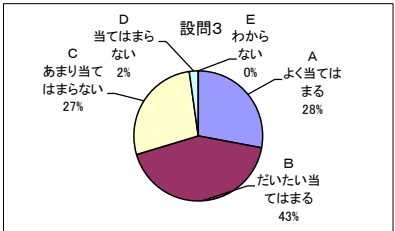
1 お子さんは、学校に喜んで登校している。



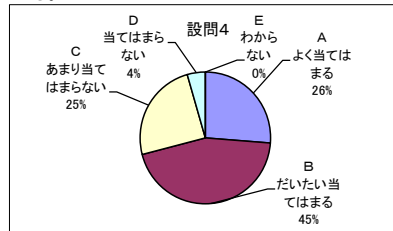
2 お子さんは、きちんと挨拶ができる。



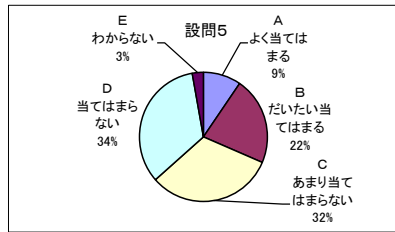
3 お子さんは、家庭でも進んで学習や運動に取り組んでいる。



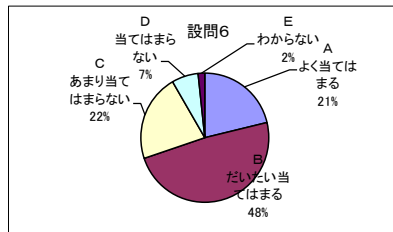
4 お子さんは、起きる時刻・ねる時刻などを自分でまもり、きそく正しい生活をしている。



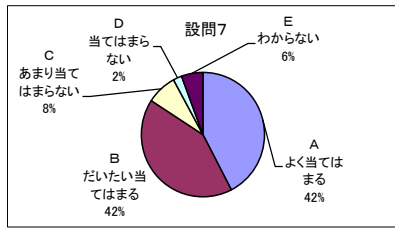
5 朝の10分間読書(読書タイム)のことが家庭で話題になる。



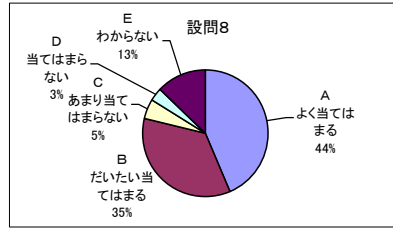
6 学校での学習・生活のことが家庭で話題になり、どんなことが行われているかが分かる。



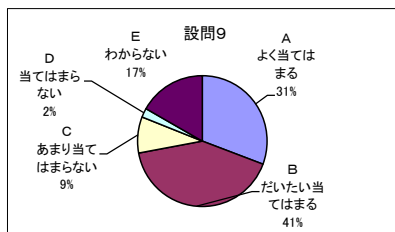
7 参観した授業は、楽しく分かりやすい授業になっている。



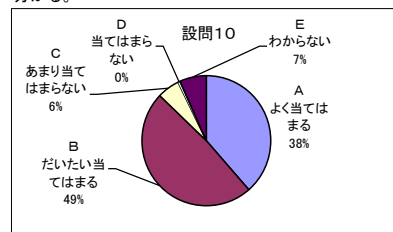
8 学級担任は、お子さんのことを理解している。



9 学校は、保護者の願いを受けとめ、こたえようとしている。



10 学校のホームページ・かがやけ宇智の子・学年だより・保健だより等からは、児童の様子や学校の取組がよく分かる。



23年度 学校評価計画表 学校評価総括表

五條市立宇智小学校

		心豊かで自ら学ぶ児童の育成					総合評価
運営方針		学校教育目標及び「目指す学校像」「目指す児童像」の具現化を図るために、教職員一体となって共通理解のもと、家庭や地域との連携を図りながら、PDCAを意識した教育実践に取り組む。					
22年度の成果と課題		本年度の重点目標		具体的目標			
<p>○子ども一人一人の悩みや気になる子を大切にしたい学級づくりができた。</p> <p>○Eタイム「英語活動」の時間を通して、コミュニケーション能力を高める取組の推進ができた。</p> <p>○学級を公開し、授業公開を推進することによって、教員の指導力の向上が図れた。</p> <p>●各家庭の生活リズムの多様さと関わり、基本的な生活習慣の確立が十分ではなかった。</p> <p>●子ども一人一人に応じたきめ細かな指導の工夫がより必要である。</p> <p>●学校の取組を保護者に伝えることができたものの、その意図が十分に理解されておらず、連携が十分とれていない部分があった。</p>		◎ 生き生きと明るく、楽しい学校づくり		○悩みや気になることなど先生や友達に何でも話せる楽しい学級づくり			
		◎ 基礎的、基本的な内容の確実な定着		○思いやりや親切のあふれる子どもづくり			
		◎ コミュニケーション能力の育成		○特別支援教育の視点に立ったどの子にも分かる授業づくり			
		◎ 規範意識や基本的な生活習慣の定着		○意欲的に進んで学ぼうとする学習態度づくり			
		◎ 保護者・地域との連携の深化		○国語科を中心とした言語活動を通して伝え合う力づくり			
				○自ら課題を見つけて学ぼうとする学習態度づくり			
				○集団生活のルールを守ろうとする態度づくり			
				○基本的な生活習慣の確立と道徳的実践のできる子どもづくり			
				○保護者の意見を受け止める学校づくり			
				○教育方針や教育活動の適切な発信をすすめる			
評価項目	具体的目標(評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価結果		成果と課題(評価結果の分析)	改善方策等	学校関係者評価(結果・分析)及び改善方策
心の教育	悩みや気になることなど先生や友達に何でも話せる楽しい学級づくり	児童の悩みを適切に受け止め、自尊感情を高める学級経営に取り組む。	B	B	児童とのふれあいを大切にすることで悩みに敏感に対応することができたが、一人一人の自尊感情を十分高めるまでには至っていない。	従来の取組をさらに継続していくことに加え、より一層、児童一人一人が、自分の良さに気づくような取組を積み重ねていく。	心の教育の成否は、教師と児童の信頼関係が基盤であるので、児童理解の研修を生かしていくとよい。学校生活アンケートで「喜んで学校に来ている」児童が大変多いという結果が出ており、心の教育の成果が表れていると評価できる。
	他人を思いやることができ親切さのあふれる児童の育成	毎月の人権デー等において児童一人一人の思いを大切に、道徳の時間の指導はもとより各教科・領域の授業や体験活動等を通して道徳性を培う。	B		人権デーの取組は、児童にさまざまな視点から人権についてとらえさせることができた。道徳は、年間計画に基づいて指導に取り組んだが、児童の心情の高まりが弱かった。	従来の取組をさらに継続していくことに加え、道徳的心情の高まりが実践につながる場を設定し、集団の中で高まりあう取組を進める。(道徳的実践の場を確保)	
学習指導	特別支援の視点に立ったどの子にも分かる授業づくり	一人一人の学習進度に応じたきめ細かな支援の手だてを明らかにして授業に取り組む。	B	B	少人数指導を始めとしてきめ細やかな指導に取り組んでいるが、該当学年の学習内容を十分理解できていない児童も見られる。	従来の取組をさらに継続しながら基礎学力の積み上げを計画的に行う。学力の定着度を点検し、少人数での指導のための時間を設定する。	がんばりタイム・かがやきタイムで基礎学力の充実を図っていることは、効果的な取組である。読書タイムは、児童を本好きにさせるというねらいの他に、朝から落ち着いた雰囲気の中で学習を始めることができるという効果もある。大変よい取組である。学習については、家庭とも協力していかねばならない部分が多いので、家庭との連携を充実していくことが大切だ。
	意欲的に進んで学ぼうとする学習態度の育成	繰り返しの達成感の体得や体験活動及び問題解決学習を重視する。	B		生きる力を育成するための体験学習の時間確保は十分であるが、学年の系統性と教科領域の相互関連を図っていく必要がある。	従来の取組を継続しながら、児童の主体的な活動を引き出す様々な技術について教師の研修を深めていく。	
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	教職員の率先垂範のもとに、朝のあいさつなどオアシス運動に様々な場面で取り組む。	B	B	限られた場面でのあいさつはできるが、全校生が進んであいさつができるまでには習慣化されていない。	道徳の時間との関連を図った指導を繰り返したり、家庭や地域の人々との連携による実践化を計画的に取り組んだりする。	あいさつをはじめとした基本的な生活習慣の定着は、学校だけでなく、家庭での習慣形成が大変大事であるので、家庭への啓発に力を入れる。学校で、きっかけや素地を作る取組をしていることは評価できる。
		学校のまきまりが守れるように全校朝会等で適切に指導し、評価すると共に各学級での指導を徹底する。	B		繰り返しまきまりを守ることの大切さを指導してきたが、集団生活の中でまきまりを守ることがいかに大切であるかということを十分に意識されていない面がある。		
		生活リズムの確立が健康な体づくりの基本であること理解させる。(生活しへの取組)	B		生活リズムの確立が必要であるという意識は、保護者・児童に広まっているが、実際の行動では、月曜日にあくびが多かったり落ち着きがなかったりする様子が見られる。		
コミュニケーション能力	自らの考えを生き生きと伝え合う児童の育成	各学年で、年間10～35時間の外国語活動(英語活動)に取り組む。	A	A	外国語活動を通して英語に親しみ、伝え合う喜びを感じると共に、異文化への興味・関心を育てることができた。	従来の英語活動で培ったコミュニケーション力に加えて、さらに国語科で言語活動の充実を図る。	コミュニケーション能力は、将来においても大変役立つ力である。これからも、英語や国語科を中心とした取組に期待している。
		全教員が国語科を核とした授業公開を基に研修して、指導力の向上を図る。	B		言語活動の充実をテーマに国語科の授業公開を行い、授業研究をすることで、教員の指導力の向上に役立てることができた。		
保護者・地域との連携	保護者の意見を大切にしながら学校全体の取組を進める。	学級懇談・個人懇談・地域別懇談会などの保護者の意見を大切に受けとめるとともに、指導に係わる適切な情報を提供する。	B	B	保護者の意見を受けとめようと努力しているが、様々な懇談会への参加者が少なくなっている。地域別懇談会は、形態を変えたところ、保護者の参加率が高まった。	児童の生活や学習等について率直に意見を交わる場や方法を工夫する。また、学校と保護者をつなぐPTAの役割を再構築し、より分かりやすいメッセージの発信に取り組む。	保護者が多様化している中、様々な形で発信していることは大変よいと評価できる。保護者がさらに関心をもつような発信方法を創造していくことを期待している。
	学校の取組を適切に保護者や地域社会に伝える。(ホームページ・学校だより・学年だより・保健だより)	A	様々な形で、学校の取組や児童の姿についてメッセージの発信に努力し、ある程度評価はある。しかし、保護者からの反応はなかなか把握できない状況にある。				

きんぎょ笑顔の  
一年生  
「できるよ!」になったよ

一年前の頼りなくあどけない表情から、自信のあるたくましさを感じられ、しっかりと宇智小学校の一員と変身した二十五人の一年生。

上級生や先生方、家の人や地域の方々に温かく見守られ、助けられて、数々の行事や集会を体験・経験しました。仲間と元気がいっぱい、活動する中で大きく成長することができました。

生活科の学習では、アサガオを育て、咲いた花で「数調べ」や「しる遊び」を楽しみ、ツルで「リースづくり」をしました。また、育てたサツマイモで「スイートポテトづく



り」にもチャレンジしました。水やりなどの世話の大切さや育てる楽しさを学ぶことができました。また、校庭や通路で季節の変化を「秋見つけ」「冬見つけ」のカードに五感を駆使して発見したことを絵や文で表現しました。最初は、絵を描くのが精いっぱいの子どもたちでしたが、今では、マスが足りないぐらい文章が書けるようになり、秋には木の葉や木の葉で絵を描

いたり、冬には氷作りや雪遊びなどをしたりして楽しみ、自然との関わりの中でたくましくのびのびと育ちました。二学期には、民生児童委員の方々に「けん玉」「こま回し」「竹とんぼ」「福笑い」「紙飛行機」などの「昔からの遊び」を教えて頂きました。手ほどきを受けてながら、何度も練習し、上達していく喜び、遊びのおもしろさを味わうことができました。遊びを通して、人との関わりをうれしさを知った子どもたちの笑顔がありました。



その後の学習で、自分のコマを作って回す練習を重ね、「コマまわし大会」をしたり、凧を作って「凧あげ大会」をしたりして昔からの遊びを楽しみました。

たくさんの活動の中で発見や成長がありました。一年のふりかえり『できるよ!』になったよ』では、「一学期は友達と全然できなかったけれど、今では友達と遊べるようになったよ!」と嬉しそうに話していました。友達のいいところを見つけたよ!」と嬉しそうに話していました。友達のいいところを見つけたよ!」と嬉しそうに話していました。友達のいいところを見つけたよ!」と嬉しそうに話していました。

何でもチャレンジ  
かがやく三十一の光  
一年生

この一年間で本当に多くのことを学習してきました。二年生で最後の学習となる生活科では、幅広く学習してきました。

四月からは、多くの野菜を育てました。トマト、キュウリ、トウモロコシ、えだまめ、オクラ、白なす、食べたことのあるけれど、育てたことのないものばかり。どの野菜も大切に愛情を込めて育てました。夏には見違えるほど大きくなり、九月の学習参観では、育てたトマトからミートソースを作ってスパゲティにして保護者の方と一緒にいただきました。他の野菜もジャムやおひたし、漬け物などにしていただきました。野菜が苦手な子どもも、食べてみると思わず、「おいしい!」と言ってみんなパクパクもぐもぐ自分達が育てた野菜がこんなにも大きく成長し、料理して食べられたことに感動の嵐でした。

また、身近なところへ町探検にも行きました。車を販売しているマツダさん、五條



今井郵便局さん、うちのスーパーさん、東川酒店さん、わたたにさん、五條市給食センターさん、多くの方に協力していただきました。たくさんの方の発見がきっかけで、子ども達は目を輝かせながら耳を傾け、メモをとっていました。学習してきたことはクイズやペープサート、新聞などにしてみんなに発表しました。秋にはおみこし作りにも挑戦しました。大きなだんボールを用意して、各グループでテーマを決めて作りました。モールや画用紙などの飾りを付けて、それぞれカラーが出たとしても良いおみこしが完成。みんなで運動場に出て、「わっしょい! わっしょい!」のかけ声で、他のグループの子に負けじと響かせていました。

ことを経験して吸収していきます。持ち前の元気印で何事にも全力でぶつかってほしいです。かがやけ! 三十一人のパワー★

みんなで学ぼう  
支え合おう  
三年生

三年生になり、理科、社会、総合的な学習の時間(わくわくタイム)など、子ども達にとって新しい学習が始まりました。特に、社会やわくわくタイムでは、調べ学習を中心として、学習してきました。

一学期には、宇智校区の絵地図作りに取り組みしました。小学校のプールから、宇智校区を眺めて見ると、店の多い所、畑の多い所、山の多い所など、普段気がつかない宇智校区の土地の様子が一望できました。子ども達は、自分の家の方角を確かめながら、分かったことを絵に表しました。また、家庭学習として、自分の家のまわりの土地の様子も調べ、地図に書き込む作業をしました。春の遠足では、みどり園の見学に行きました。方角について考えたり、歩く道々で、土地の様子を調べたり... 少しずつ宇智校区の様子が見えてきました。

いよいよ絵地図作りの始まりです。自分の家や店などを色分けで、また、地図記号を活用しながら、仕上げていきました。だんだんと出来上がっていき、絵地図を見て、子ども達は、嬉しそうに、そして、意欲的に取り組むことができました。子ども達それぞれが調べたことが大きな絵地図の完成につながりました。一方、わくわくタイムでは、五條市の校区に目を向けて学習しました。子ども達それぞれ



それぞれの校区を選び、調べ学習の計画を立てました。聞き取りをしたり、現地に向いて調べたりするなど、家庭の協力を得て、進めることができました。そして、各校区のグループに分かれ、発表会の準備をしました。見たり聞いたより調べたりしたことをどのようか重要で、伝えていくのが話し合いでは、調べたことを交流しながら、発表内容をまとめていきました。発表会では、提示物を工夫し、五條市の校区について、お互い聞き合うことができました。二学期には、店の見学から分かったことを新聞に、また、三学期には、昔のくらしについて、調べたことを本にまとめることができました。この一年間で、子ども達は、いろいろな学習の場で、たくさんのおもしろいことを学ぶことができました。まず、課題に自分で取り組み、そして、グループで解決し、それから、全体に広めていく学習の過程では、見方や考え方を学び合うことができてきました。さらに、子ども達が協力し合い、認め合うことが大切さも身につけることができました。これからも、成長してほしいと思っております。

☆きらぼし☆  
興味をひろげて  
新しい世界へ挑戦!  
四年生

今年度、一年間を通して、自分たちの生活に関わる社会の仕組みから住んでいる市や、奈良県と関わりのある世界の国々について調べていきました。聞き取りをしたり、見学をしたり、インターネットを利用して興味のあることについてどんどん調べていき知識を広げていきました。

秋に行った奈良県警本部と東大寺の見学では、実際に見せていただいた通信司令室の様子や警察官の持ち物、また、大仏殿での鼻の穴くぐりなどを体験しました。奈良県の歴史を感じると共に、自分たちの生活の安全を守っている施設について学びました。奈良県警本部では、教室で学んだことに加えてさらに詳しく教えていただき、仕事の大変さや安全を守る仕組みなどを深く理解できました。



んに作り方を教えていただきました。世界に一つだけの手作り楽器です。作る途中、子どもたちは友達と助け合いながら熱心に作業をしていました。できた楽器の音色に、「きれいだなあ」「オルゴールみたい」と目を輝かせていました。カリンバは、市内小中音楽会でも披露しました。

二学期のまとめとして、自分たちと関わりの深い市町村や、興味のある市町村について調べ、一枚の新聞にしました。調べていく中で、「何度も行っていたけれど、こんなこと知らなかった。」「意外と歴史のある街だとわかったよ。」「など、新しい発見が次々とあり、「先生、この市ってな、・・・」と説明をしてくれる子どももいました。最後には発表会をもち、友達の調べた市町村について一生懸命聴いている姿が見られました。調べてわかる喜びを感じているようでした。また、奈良県を飛び出し、中国・韓国・フランス・チリ・ブラジル・フランス・マーシャル諸島と文化や歴史で奈良県と関わりのある国々についても調べました。国々の衣装や食べ物など多文化を知るきっかけとなりました。



自分が好き  
友達が好き  
自尊感情を育てて  
意欲的に  
五年生

最初は戸惑っていた子どもたちですが、メッセージカードが仕上がる頃には、「成人式のときに読みたいな。」「子どもたち一人一人が未来への希望を胸いっぱい膨らませています。」「一年間を通して、たくさんの人との出会いや見たこと感じたことがすべて「学び」となりました。それらを、これからの自分の生活に生かし、新しい世界へどんどんチャレンジしてほしいと思います。」

①サークルタイムで論理的に話す力をつけよう  
五年生は、サークルを作ってみるなど一つのテーマで話し合うサークルタイムをおこないました。「幸せって何?」「宿題は必要か?」とか、いろいろなテーマでみんなの考えを話し合うものです。サークルで話し合うと人の考えを聞くことがとても楽しくなりま



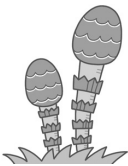
す。友達は、「こんなことを考えているのか」と人を理解する力やコミュニケーション力がつきます。これからの力がかねばならない大きな力です。

②おもしろかったよ!  
NHK放送体験

宇智小学校を多くの人に紹介しようとNHK放送体験に取り組みました。斑鳩ホールでテレビカメラに向かって、どきどきしながらニュースを読んだ体験。カメラをまわして友達を撮った体験。ディレクター・音声等の裏方の仕事を体験した体験。なかなか出来ない体験を積んだのはとても大きな出来事でした。初めての体験は、子ども達を大きくしてくれました。

③「環境」について調べて発信したよ!

子ども達は、自然はいつも普通にあつて当たり前と持っていたようですが、今回の学習から、オゾン層の破壊・森林・地球温暖化・ダイオキシンの地球に住む私達の大きな課題に目を向け、自分たちが考えるようになりまし



未来の自分のために  
六年生

卒業までのカウントダウンが始まった一月には、社会科学習の一環として、葛城税務署と五條市役所の税務課の方をボランティア講師としてお招きし「租税教室」を開きました。さまざまな税の種類や使われ方などを学習しました。子どもたちにとって、身近な話題ではない税金の話ですが、分かりやすく説明していただきました。その後、「もしも税金がなくなったら...」という内容のDVDを視聴しました。救急車を呼んでも、料金を請求される世界。子どもたちにも税金がなくなったらどんなに大変な世の中になるか、よく分かったようです。税金とは、みんなの力を合わせて良い社会をつくるために、また、豊かで夢のある生活のために使われる会費のよ



二月に入って、「喫煙防止健康教室」として、カルム五條より講師をお招きし、たばこや喫煙の害について学ぶことができました。子どもたちは、真剣な態度で興味をもつて受講することができました。学習後のアンケートでは、「かっこいいと思う」と答えた子どもは一人もいませんでした。また、二十歳前後の喫煙行動予想についても、「吸ってはいけません」と答えた子どもは、一人もいませんでした。たばこを勧められたとき「きつと断れ」と答えた子どもも、割合も七パーセントと高く、自分の健康に気をつけようとする態度が身についてきていると嬉しくなりました。



三学期後半は、卒業プロジェクトを進行中です。お世話になった方々へのお手紙やフェルトを使った手作り作品に取り組んでいます。ここまで成長できたのは、周囲の方々の支えがあったからこそと、感謝の気持ちを込めて、一針一針、たいねいに縫っています。体験から学ぶことはたくさんあり、生活に生かしたいと夢を向かい、夢に届きたいと頑張っています。